

IR REPORT

第90期 中間決算のご報告

2024年4月1日～2024年9月30日

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2024年4月1日から2024年9月30日までの当社第90期中間期の営業の概況についてご報告申し上げます。

2024年12月 取締役社長

布原達也



◆ 当中間期の経営成績の概況

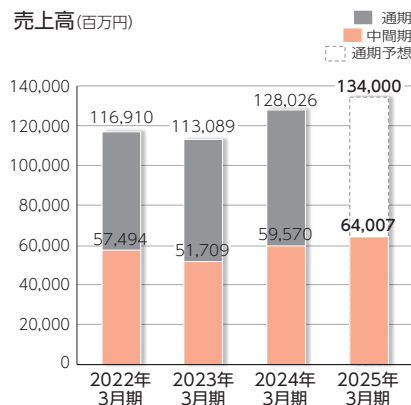
当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境や設備投資の改善などにより緩やかな回復基調が続いた一方で、中東をはじめとした海外情勢の緊迫化に加え、諸物価の高騰や米国の景気先行き懸念による株式市場の動乱及び日米金利差の拡大を懸念した為替の急変動の影響などにより、景気は先行きが厳しい状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは2031年3月期(2030年度)を見据えた長期経営ビジョン～Kyokuto Kaihatsu2030～の実現に向けた第1ステップである中期経営計画(3カ年計画)2022-24～Creating The Future As One～(2022年4月1日～2025年3月31日)の最終年度として、生産性向上による利益体質の強化や、持続的成長と変革を支える強固な事業基盤の構築など各施策の実行に努めました。

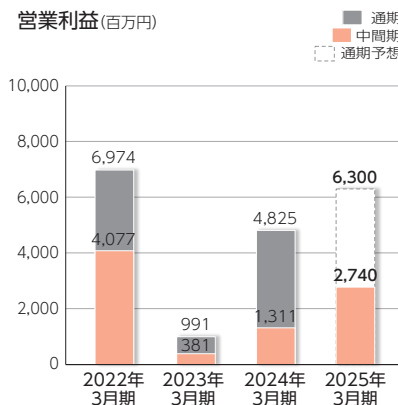
この結果、当中間連結会計期間の経営成績は前年同期と比較して(以下、前年同期比)売上高は前年同期比4,437百万円(7.4%)増加し64,007百万円となりました。営業利益は前年同期比1,429百万円(109.0%)増加し2,740百万円、経常利益は前年同期比814百万円(43.8%)増加し2,672百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比2,005百万円(188.6%)増加し3,068百万円となりました。

◆ 業績ハイライト

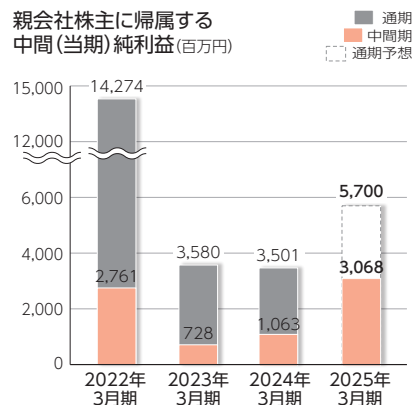
売上高(百万円)



営業利益(百万円)

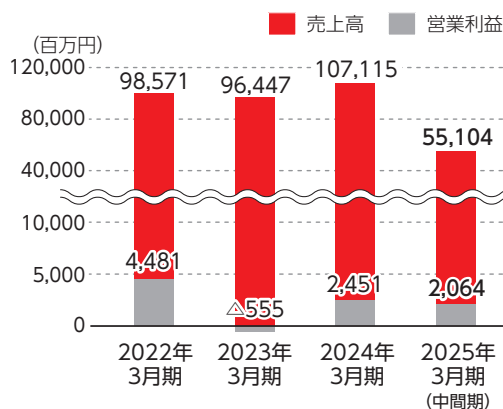
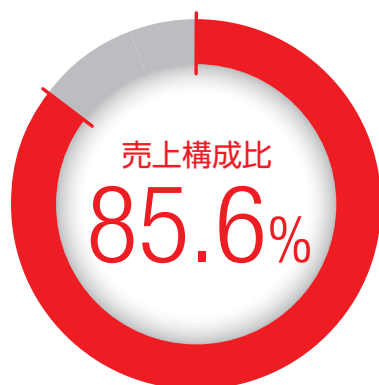


親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益(百万円)



※2022年3月期は、13,221百万円の特別利益を計上

特装車事業



国内・海外ともに受注は底堅く、好調に推移しました。継続的に取り組んできた製品価格改定の効果が表れたことや、トラックシャシの供給が徐々に改善してきたこと等に伴う生産性の向上により、売上高・利益共に増加しました。

また、営業体制の強化とサービス・メンテナンス等のストックビジネスの拡充を目的として、2024年4月に当社東北支店を移転拡張いたしました。同拠点は、グループ会社である日本トレクス株式会社の東北支店及び、株式会社エフ・イ・オートの直営サービス工場である「エフ・イ・オート 仙台サービスセンター」も併設しています。

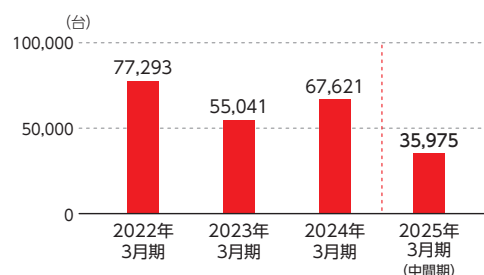
成長投資としては、日本トレクスにおけるトレーラ新工場の建設工事を進めたほか、IoT・AI等の新技術の研究・開発、グループ間の連携体制構築、新製品開発の迅速化、製品品質の向上など、カーボンニュートラルに向けた社会的変革に対応する研究開発体制の強化を目的とした当社グループ研究開発拠点（極東開発グループテクニカルセンター）の建設計画を進めました。

海外事業では、更なる事業拡大を目指しインドのグループ会社であるSATRAC社が計画しているチェンナイ市近郊の新工場建設に向け準備を行いました。

当セグメントの売上高は前年同期比3,950百万円(7.7%)増加し55,104百万円となりました。営業利益は前年同期比1,321百万円(177.7%)増加し2,064百万円となりました。

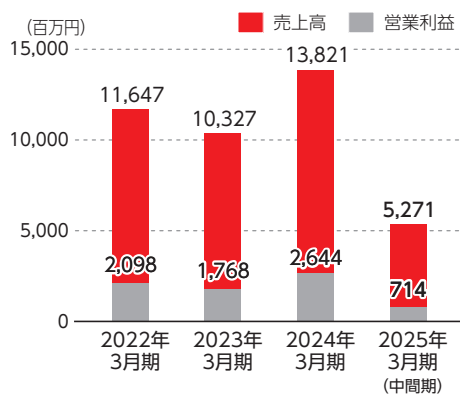
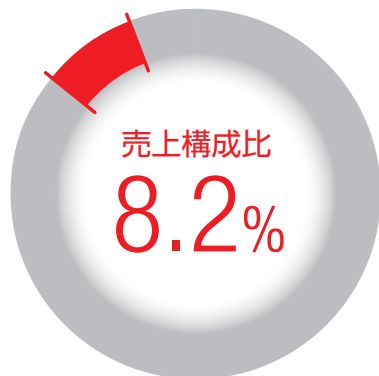
なお、2024年11月12日開催の取締役会において、オーストラリアの特装車メーカーであるSTG Global Holdings Pty Ltdの株式を取得し、本年12月中にグループ化することについて決議いたしました。今後、オーストラリア市場への展開を大幅に強化すると共にその他地域の展開も含め、海外事業の拡大を図ってまいります。

●国内普通トラック登録台数の推移



スワップ冷凍バンボデー

環境事業



プラント建設では新規物件の受注活動と受注済物件の建設工事を進めた結果、新規物件として2024年6月に兵庫県尼崎市様より一般廃棄物処理施設の整備・運営事業を、2024年7月に石川県輪島市と穴水町の1市1町で構成される輪島市穴水町環境衛生施設組合様よりマテリアルリサイクル推進施設の整備工事を、2024年9月に大分県由布市様よりごみ中継施設の整備工事をそれぞれ受注しました。

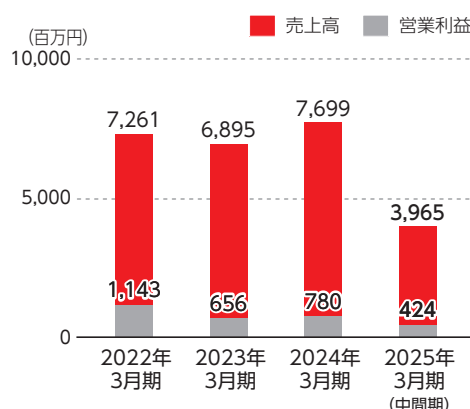
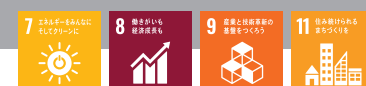
また、メンテナンス・運転受託等のストックビジネスについても引き続き注力しました。

当セグメントの売上高は前年同期比61百万円(1.1%)減少し5,271百万円となりました。営業利益は前年同期比23百万円(3.4%)増加し714百万円となりました。



輪島市・穴水町地域マテリアルリサイクル推進施設イメージ図

パーキング等事業



立体駐車装置は新規物件の積極的な受注活動とリニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスに注力し収益の確保を図りました。

コインパーキングは稼働率の向上と採算性を重視した事業地展開を進めました。

また、新事業である立体駐車装置・コインパーキング向けEV用充電設備設置・充電管理サービス「Charge-mo(チャージモ)」の今後の更なる展開に向けた準備を行いました。

当セグメントの売上高は前年同期比593百万円(17.6%)増加し3,965百万円となりました。営業利益は前年同期比82百万円(24.0%)増加し424百万円となりました。



Environment —環境—

「eパッカー®」特別仕様車を納車

東京都港区様に、日本初(※当社調べ)となる特別仕様の環境学習用スケルトンパッカー車を納車しました。

今回納車した車両は、「eCanter」に架装した排出板押出式プレス式ごみ収集車(プレスパック®)をベースに、ボデーやテールゲート側面部をスケルトンとした「eパッカー」特別仕様車で、ごみを積み込む様子やごみ収集車の動きを詳細にご覧いただくことができます。

この車両は、港区様が策定された「港区環境基本計画」における「環境教育等による環境保全意識の向上」の施策の一環として、導入されました。今後は、ごみ収集作業に使用する車両に触れるとともに、作業体験を通じてごみの適正排出及び減量に関する意識啓発を図ることなどを目的に、区内の小・中学校への出前講座や各種イベントで活躍する予定です。



東京都港区様向け
環境学習用スケルトンパッカー車

「2024(第43回)みなと区民まつり」でのお披露目の様子

写真左：港区長 清家 愛 様
写真右：当社 取締役 常務執行役員
特装事業部長 木津 輝幸

Environment —環境—

三木工場ため池ソーラー稼働

三木工場の電力コスト・CO₂排出量の削減を目的とした通称「ため池ソーラー」が1月に稼働開始しました。

ため池に浮かぶ太陽電池フロートで発電された電力は、約1kmの自営線で工場に送電され、全量、自家消費します。

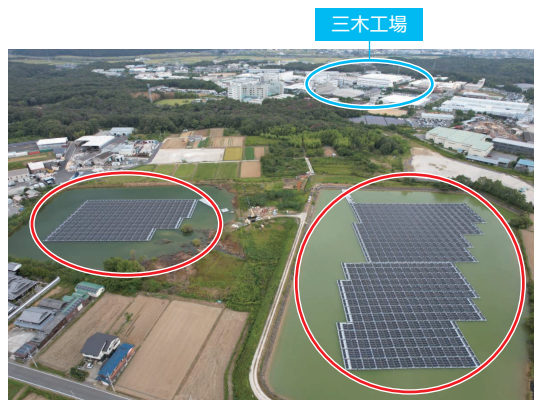
三木工場の消費電力の約4割を再生可能エネルギーによりまかない、CO₂排出削減効果は年間1,000トンとなります。

【施設概要】

太陽電池モジュール 約2,600kW
パワーコンディショナー 約2,000kW



太陽電池フロート



ため池ソーラー(空撮)

Social —社会—

日本トレクス ドライビングスクール開校

グループ会社である日本トレクスがトレーラ専門のドライビングスクールを開校しました。

以前よりお客様から「現物に触れて導入を検討したい」「トラックからトレーラへのステップアップを支援してほしい」といった声を多数いただいております。

10月からは、ダブル連結トラックについても運転教習を開始するなど実際の車両を使用して講習を行うことで、2024年問題解決の一助になることを目指します。



【研修場所】とよはし産業人材育成センター
(愛知県豊橋市)



スクールの様子(一例)



ダブル連結トラック

「パックマン®」(排出板押出式)フルモデルチェンジ

2t 車級回転板式ごみ収集車「パックマン」(排出板押出式)をモデルチェンジし、発売しました。

新型「パックマン」は、積載物排出時の車両安定性が高い排出方式と、汚水の飛散が少なく積込時間が短いという特長の積込方式を採用した機種で、安全な排出作業と効率的な積込作業の両立を可能とする製品です。

新型「パックマン」(排出板押出式)の特長

1. 美しく力強いフォルムに加え荷箱容積のアップ
2. 専用設計のLEDランプで視認性向上
3. クラス最大級の投入口幅を確保
4. インナーライドカバーの操作性向上
5. 積込装置・排出装置の耐久性アップ



新型2t車級回転板式ごみ収集車
「パックマン」(排出板押出式)



一体型ワンタッチハンドルと
インナーライドカバー

東北支店/仙台サービスセンター リニューアルオープン

極東開発工業 東北支店を移転拡張して、グループ会社である日本トレックスの東北支店、エフ・イ・オートの直営サービス工場 仙台サービスセンターを新たに併設し、リニューアルオープンしました。

屋根上には当社グループの営業拠点として初めて太陽光パネルを設置し、クリーンエネルギーの利用によるCO₂排出量の削減をはじめとした環境への対応も図っています。

さらに併設のサービスセンターでは、当社大型製品や日本トレックス製品のトレーラなど幅広い車種の受け入れが可能な作業レーンに加え、自重計用荷重試験装置を備えています。



極東開発工業 / 日本トレックス 東北支店
エフ・イ・オート 仙台サービスセンター

「はたらくるま工場見学会 in小牧市」を開催

当社名古屋工場にて「はたらくるま工場見学会 in小牧市」を開催し、多くの親子連れの方々にお越しいただきました。

当イベントでは、工場でどのようにして「はたらくるま」が作られるのか製造工程を見学していただきました。また、子どもたちに普段おもしろいしか接することのできない「はたらくるま」の実物に触れたり、稼働・乗車体験をしていただくことで、特装車の社会における役割を理解してもらうことを目的としています。

これからも社会貢献活動を通じて地域社会との連携と調和を図り、地域社会の一員として責任を果たすとともに、地域社会との信頼関係をより強固にするために、コミュニケーションを深め、より良い関係を築けるよう積極的に取り組んでまいります。



名古屋工場の見学の様子

尼崎市 第1工場跡地整備・運営事業受注

(株)タクマを代表企業とした企業グループに参画し、2024年6月28日付で尼崎市様より、第1工場跡地整備・運営事業(※一般廃棄物処理施設)を受注しました。

現在、尼崎市では2つの焼却施設(第1工場、第2工場)が稼働中ですが、施設の老朽化とごみ処理量の減少に伴い第1工場の既存施設を解体、跡地にごみ処理・リサイクル設備を集約した新施設建設を予定しています。

新施設建設工事は、当社を含む計5社からなる特定建設工事共同企業体が実施いたします。完成後は、構成員により設立された特別目的会社で20年間の施設運営及び維持管理業務を実施します。

当社は、リサイクル施設(破碎設備・選別設備)のプラント建設工事及び同プラントの運営・維持管理を担当します。

【施設概要】

受注金額 72,500百万円

処理能力 焼却施設：447t/24h リサイクル施設：55t/5h

し尿処理施設：19kL/日



施設完成イメージ図

輪島市・穴水町地域マテリアルリサイクル推進施設整備工事受注

2024年7月9日付で石川県輪島市と穴水町で構成される輪島市穴水町環境衛生施設組合様が発注する、輪島市・穴水町地域マテリアルリサイクル推進施設整備工事を受注しました。

本事業は、燃えるごみの処理方法をRDF化から焼却に変更することに伴い廃止された輪島・穴水地域RDFセンターの建屋を活用し、新たなマテリアルリサイクル推進施設を整備する工事となります。

本工事において当社は、プラントの解体及び設計、施工を実施し、土木建築工事を(株)宮地組が実施します。

【施設概要】

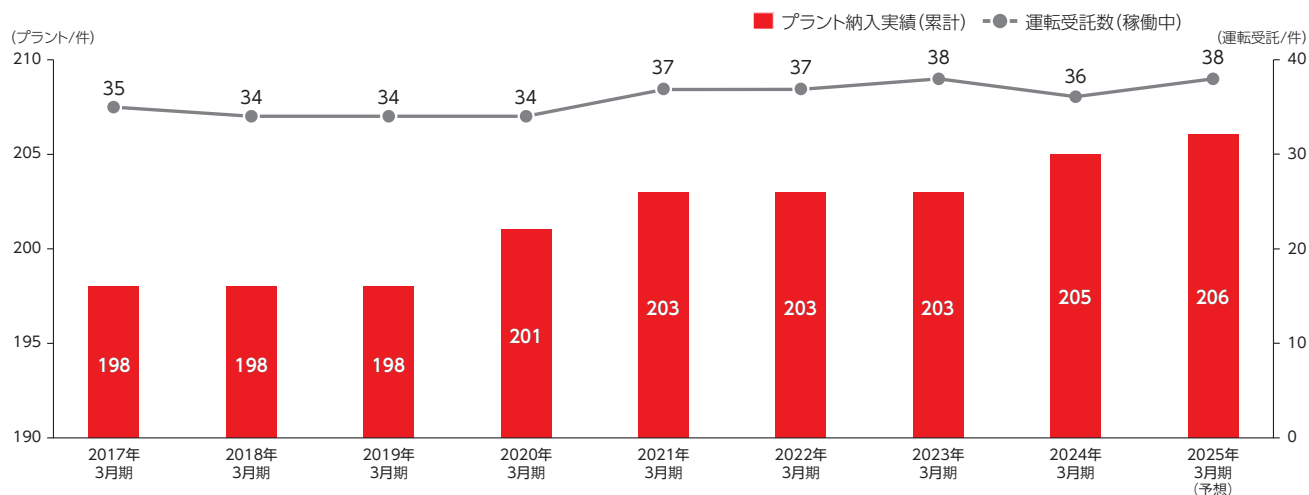
受注金額 2,355百万円

処理能力 18.7t/5h



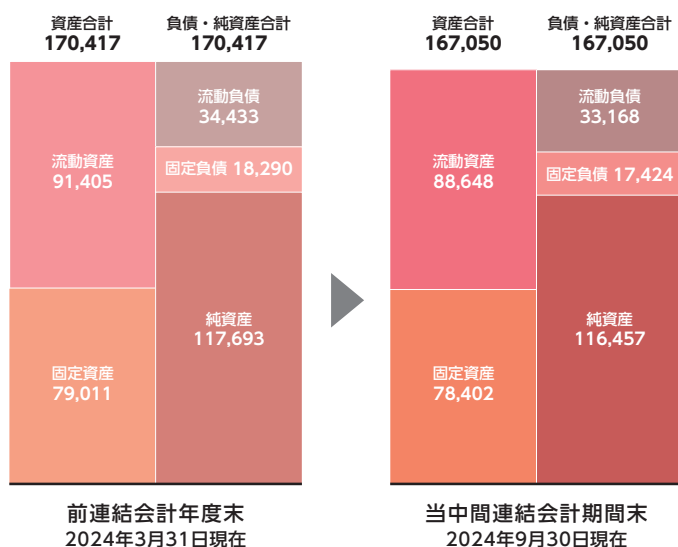
施設完成イメージ図

プラント運転受託数・納入実績



連結財務データ (日本基準)

◆ 中間連結貸借対照表の概要 (百万円)



ポイント解説

当中間連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して(以下、前期末比)、総資産は前期末比3,366百万円(2.0%)減少して167,050百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により前期末比2,757百万円(3.0%)減少して88,648百万円となりました。

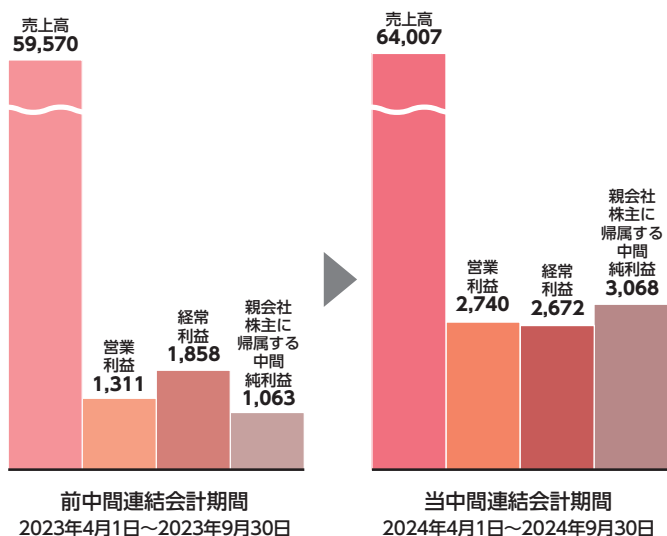
固定資産につきましては、投資有価証券の売却等により前期末比609百万円(0.8%)減少して78,402百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は電子記録債務の減少等により前期末比1,264百万円(3.7%)減少して33,168百万円、固定負債は繰延税金負債の減少等により前期末比865百万円(4.7%)減少して17,424百万円となりました。

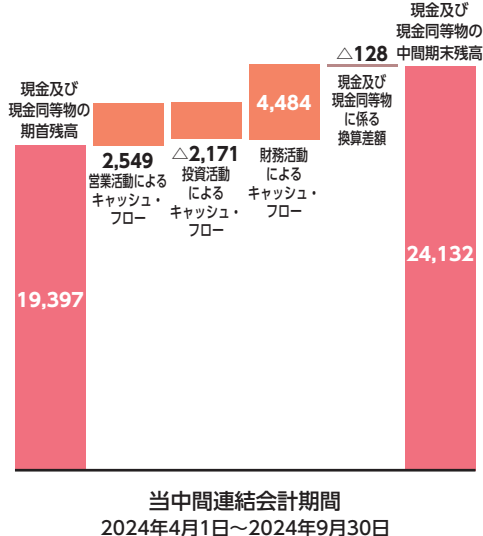
純資産につきましては、配当金の支払い等により前期末比1,236百万円(1.1%)減少して116,457百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間末現在の自己資本比率は69.3%(前連結会計年度末68.7%)となりました。

◆ 中間連結損益計算書の概要 (百万円)



◆ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



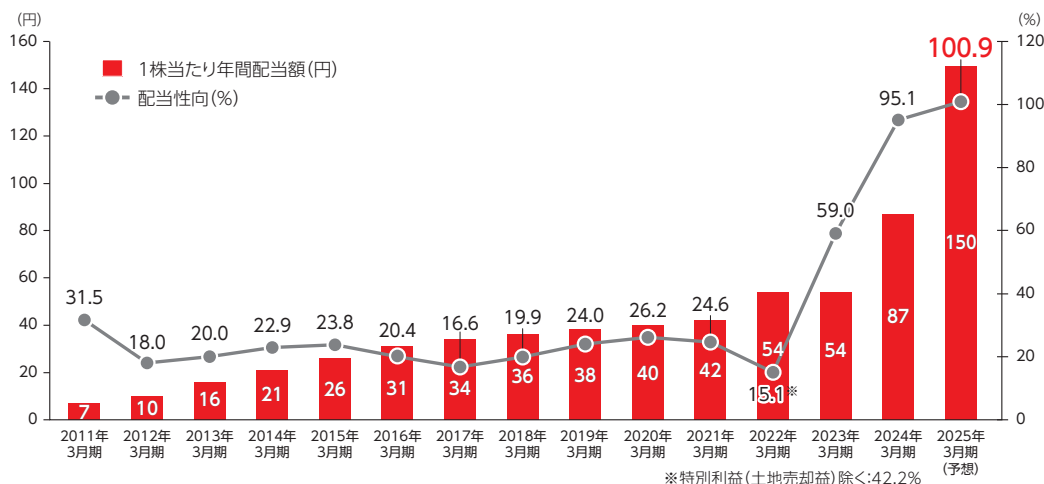
株主還元の強化

株主還元の方針:年間配当額 1株当たり下限 54円 + 機動的な自己株式取得の実施

本中期経営計画期間において総還元性向
100%

2025年3月期は

63円増配の
150円(予想)



◆ 企業データ (2024年9月30日現在)

[会社概要]

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結3,249名 単独1,153名

[役 員]

代表取締役社長 社長執行役員	布 原 達 也
代表取締役専務 専務執行役員	則 光 健 男
取締役 常務執行役員	堀 本 昇
取締役 常務執行役員	木 津 輝 幸
取締役 執行役員	市 村 哲 也
社 外 取 締 役	寺 川 博 之
社 外 取 締 役	金 子 啓 子
社 外 取 締 役	友 廣 隆 宣
常 勤 監 査 役	櫻 井 晃
監 査 役	栗 山 裕 章
社 外 監 査 役	藤 原 邦 晃
社 外 監 査 役	浅 田 修 宏
常 務 執 行 役 員	高 崎 文 弘
執 行 役 員	細 澤 幸 広
執 行 役 員	高 濱 晋 一
執 行 役 員	吉 田 豊
執 行 役 員	牛 尾 昌 史
執 行 役 員	千 々 岩 伸 佐 久
執 行 役 員	野 村 達 也
執 行 役 員	岩 田 圭 介
執 行 役 員	清 水 守
執 行 役 員	山 本 浩
執 行 役 員	佐 竹 重 幸
執 行 役 員	岡 本 智
執 行 役 員	岡 崎 隆 宏
執 行 役 員	栗 末 英 行

[株主メモ]

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	期末 3月31日 中間 9月30日
公 告 方 法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (https://www.kyokuto.com/)

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所 プライム市場

◆ 株式データ (2024年9月30日現在)

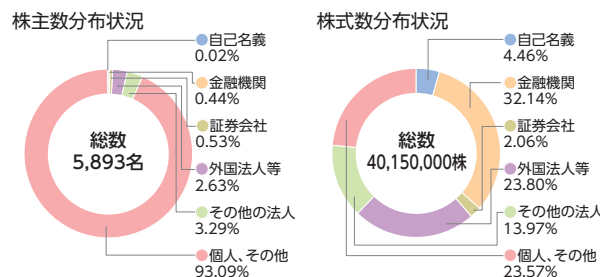
[株式の状況]

発行可能株式総数	170,950,672株
発行済株式総数	40,150,000株
株 主 数	5,893名
大 株 主	

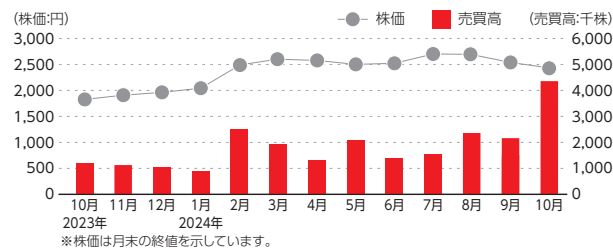
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,593	11.98
INTERTRUST TRUSTEES (CAYMAN) LIMITED SOLELY IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF JAPAN-UP	2,120	5.53
株式会社三井住友銀行	1,600	4.17
極東開発共栄会	1,580	4.12
株式会社日本カストディ銀行 (リソナ銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,140	2.97
極東開発従業員持株会	1,095	2.85
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.64
宮原 幾男	814	2.12
INTERTRUST TRUSTEES CAYMAN LIMITED AS TRUSTEE OF JAPAN-UP UNIT TRUST	754	1.97

(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式(1,792千株)を控除して計算しております。

[株式分布状況]



[株価・売買高の推移]



この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒541-8519 大阪府大阪市中央区淡路町二丁目5番11号

極東開発工業株式会社 法務広報部

URL:<https://www.kyokuto.com/>**Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

Facebook



YouTube



社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

健康経営優良法人
2024
Health and productivity